

# 宮古恵風支援学校

## 研究テーマ

### 「学習指導要領を踏まえた授業づくり」 ～授業に生かす評価のあり方～ (二年次研究一年目)

## 1 全体研究

### (1) 主題設定の理由

研究を進めるにあたり、職員アンケートを実施した。「観点別学習状況の評価」について基本から学びつつ、授業づくりや評価を含む個別の指導計画の作成につなげていきたいとの意見が寄せられた。

そこで、前次研究の成果である授業づくりの手順を継続しつつ、学習評価の視点を加えた取組を行うこととした。

### (2) 研究の目的

- ア 観点別学習状況の評価の具体的理解と実施
- イ 指導と評価の一体化をめざした授業づくり
  - ・児童生徒の学習の改善
  - ・教師による指導の改善
  - ・学校全体としての教育課程の改善

### (3) 研究の内容・方法（一年次）

学習評価では、観点別学習状況の評価について理解を深める。また、観点別学習状況の評価を日々の授業レベル（単元のまとまり）で実施する。前次研究より継続した「いわての授業づくり3つの視点」に基づいた授業づくりシートを活用した授業づくりを行う。

7月に学部ごとに、教科【国語】【算数/数学】の授業で授業研究会を行い、授業づくりシートを活用した授業実践、観点別学習状況の評価について検討した。

## 2 各学部の実践

### (1) 小学部

小学部の取組に沿って整理した資料を作成し、研究会では「観点別学習状況の評価とは何か」を確認する機会を設けた。改めて学習指導要領改訂のポイントを押さえたり、評価規準/基準の設定方法や目標達成のための授業づくりのあり方を確認したりした。資料は、授業づくりや評価の場面で参照できた。また、観点別学習状

評価の視点を取り入れた授業づくりシートを活用し、指導と評価の一体化をめざした。シート作成や授業実施、評価のサイクルの中で、シートの内容に不十分な部分や、観点別学習状況の評価になじまない部分、児童の実態に当てはまらない部分は修正を加えながら活用した。

### (2) 中学部

授業づくりシートと評価シートを使って、指導と評価の一体化をめざした授業づくりに取り組んだ。P: 授業づくりシートの作成、D: 授業、C: 授業づくりシート【次の授業に向けて】・評価シートの記入、A: 授業改善の流れで授業実践を行った。研究会では、様式の検討や評価シートへ「観点別学習状況の評価」を意識しながら記入することで、「観点別学習状況の評価」について理解を深めることができた。また、評価シートは、個別の指導計画の評価記入時に活用し、PDCA サイクルのツールとしての有効性を確認することができた。

### (3) 高等部

授業づくりシートを活用しながら、「評価規準/基準の目標設定や評価の仕方」について高等部全体で取り組んだ。授業づくりシートを用いた授業実践を行うことで、「観点別学習状況の評価」を日々の授業レベルで実施することができた。研究会では、グループで評価規準/基準の設定方法や評価の仕方について考えたり、次の授業に向けた改善を行ったりすることができた。また、授業ごとに観点に沿って評価することで個別の指導計画とリンクさせることができた。

## 3 講演会

演題：「学習指導要領を踏まえた授業づくり」  
～授業に生かす評価のあり方～

講師：東北福祉大学 教授 大西 孝志 氏  
期日：令和4年7月26日(火)  
参加者：70名

## 4 刊行物

研究集録をホームページにて公開